

地域に根差した ST 活動を拓げていくために

一般社団法人群馬県言語聴覚士会 会長の木村です。

会員の皆様におかれましては、昨年度も COVID-19 の影響で、制限のある中での臨床となったことと思います。

当会でも、会議のオンライン化、ニュースレターの電子化など、昨今の状況に対応してさまざまな変化がありました。研修会、学術研究発表会もオンラインで行いましたが、オンライン化により県外の ST の参加が増えるなど、ポジティブな面も見出すことが出来ました。

一方、群馬県、前橋市、高崎市から委託を受けた「失語症者意思疎通支援者養成事業」は 3 年ぶりに実地開催し、無事に修了者を輩出出来ました。

群馬県からの委託を受けた「特別支援学校機能強化事業」においても、県下の学校に会員が直接赴き、助言を行う活動を続けています。この事業は PT や OT も参加していますが、ST の訪問回数が最も多くなっています。

POS 連絡協議会、群馬県地域リハビリテーション支援センターでも、会員 ST が地域リハに関するさまざまな取り組みに尽力されています。

今年度は、まだ COVID-19 の状況が不確定ではありますが、ST が地域に出て行う活動を増やしていく年になると思います。当会としましても、それぞれの地域で活動される会員の皆様にサポートしていきたいと考えています。

また、昨年度には、当会事務局業務の効率化の為、一部業務の外部委託を開始しました。これにより今年度から年会費の振込先が変更になっています。すでに振込先変更の案内を送らせていただきましたが、皆様のご協力をお願い致します。

もう一点、皆様にお知らせすべきこととして、昨年度から、日本言語聴覚士協会と都道府県士会との間で、連携体制構築についての議論が始まっています。当会では、すでに協会の基礎研修を県内で行なっている他、上記の委託事業についても協会と連携しながら実施しています。我々 ST が群馬県という地域でさまざまな活動をし、職域を広げ、地域に貢献していくためには、協会と力を合わせていくことが必要です。会員の皆様にもご理解を頂ければ幸いです。

一般社団法人群馬県言語聴覚士会
会長 木村 大輔

2023年度一般社団法人群馬県言語聴覚士会定時総会議案書

議案概要

- 第1号議案 「2022年度事業報告」
- 第2号議案 「2022年度決算報告」
- 第3号議案 「監事監査報告」
- 第4号議案 「2023年度事業計画」
- 第5号議案 「2023年度予算」

2022年度 一般社団法人群馬県言語聴覚士会 理事会

第1回（通常理事会） 令和4年5月29日（日） 理事16名 監事1名出席 於 Gメッセ群馬
「会長（代表理事）選任」「副会長選任」

第2回（臨時理事会） 令和4年7月25日（月） 理事13名出席 オンライン開催
「クラールとの契約について」「ホームページ運用について」

第3回（臨時理事会） 令和4年9月26日（月） 理事15名出席 オンライン開催
「講師派遣依頼への対応について」「日本言語聴覚士協会との一致化について」
「群馬県循環器病対策推進協議会構成員の推薦について」「出席依頼について」

第4回（臨時理事会） 令和4年12月5日（月） 理事14名出席 オンライン開催
「講師派遣依頼の講師料について」「Zoom webinars の導入について」
「県士会の通帳名義について」

第5回（臨時理事会） 令和5年2月20日（月） 理事14名出席 オンライン開催
「2023年度総会について」「他団体からの講師依頼受託規程」

第6回（通常理事会） 令和5年4月3日（月） 理事16名出席 オンライン開催
「2023年度総会について（前回より継続審議）」「講師謝礼の改訂について」

第7回（通常理事会） 令和5年5月8日（月） 理事14名 於 渋川中央病院
「2022年度事業報告・決算報告」「2023年度事業計画・予算案」
「総会までのスケジュール確認と総会の準備」

◆第1号議案：資料 **2022年度事業報告**

■県士会運営報告

《参加・出席》

2022年7月2日 日本言語聴覚士協会春期都道府県士会長会議【web開催】木村会長
2022年11月12日 日本言語聴覚士協会秋期都道府県士会長会議【web開催】木村会長
2022年11月26日 群馬大学創基150周年記念関連事業、群馬大学医学部保健学科 設置25周年 記念講演会・記念式典【web開催】木村会長
2022年11月26日および1月14日 都道府県士会災害担当者災害講習会 永原理事
2022年12月10日 学校教育連携担当者連絡協議会 関根理事
2022年12月23日 第1回群馬県循環器病対策推進協議会 木村会長
2023年1月8日 群馬県歯科医師会 新年を迎える会 木村会長
2023年1月18日 関東圏言語聴覚士会長会議 木村会長・角田副会長
2023年2月5日 地域リハ活動支援に関する全国担当者会議 高橋理事・酒井 ST
2023年2月18日 福祉事務所・小児医療療育施設連絡協議会 小原理事・杉澤 ST
2023年2月18日 令和4年度群馬県リハビリテーション関連団体連絡協議会定例会議【web開催】丹下副会長
2023年3月1日 令和4年度前橋地域リハビリテーション推進協議会【web開催】丹下副会長
2023年3月11日 第24回群馬県地域リハビリテーション協議会【web開催】丹下副会長

《後援》

2022年10月29日 第43回全国歯科保健大会
2022年11月19日 吃音キャンプ
2022年11月26日 第7回北関東信越ブロック学会及び第24回群馬県作業療法学会
2023年1月29日 日本医療マネジメント学会 第10回 群馬県支部学術集会
2023年2月18日 第18回ケアマネジメント群馬フォーラム in 東毛

《推薦》

群馬県循環器病対策推進協議会 構成員 木村会長
こども発達サポート iroha への講師派遣 中里監事
利根沼田地区介護審査員 林 ST
高崎市介護審査認定員 丹下副会長

《会員登録》

群馬リハビリテーション関連団体連絡協議会 会員
NPO 法人日本失語症協議会 賛助会員

《群馬県からの委託事業》

令和4年度群馬県失語症者向け意思疎通支援者養成事業 (全8回)
令和4年度群馬県失語症者向け意思疎通支援者養成事業 (スキルアップ研修 1回)

《その他》

- 1) 会員の名簿管理・事務作業の一部を株式会社 klar(クラール)へ業務委託するため契約。
契約締結日 2022年6月1日～2023年5月31日まで。
作業実績: 会員名簿の印刷・発送。会員名簿の管理。
- 2) 2022年6月20日 国会議員の羽生田俊氏と事務局にて意見交換を実施(木村会長・江口理事参加)
- 3) 日本言語聴覚士協会からのアンケート依頼や調査協力の依頼があり、情報提供を実施

《群馬県多職種連携推進協議会(オール群馬)》

各団体の事業について情報交換を行いました。

令和4年5月号群馬県医師会報「多職種連携推進協議会のコーナー」に群馬県言語聴覚士会の紹介文を掲載致しました。(角田理事執筆)

《群馬県 POS 連絡協議会》

介護予防部 (高橋理事、永原理事、中島 ST)

高崎市ふれあいいきいきサロンや元気づくりステーション(高崎市長寿センター)への講師派遣事業、高崎市や桐生市の住民主体の介護予防サークルの支援等を行っています。ここ2年 COVID-19の感染拡大防止のため、高崎サロンや元気づくりステーション等への講師派遣がなかなか行えていませんでしたが、今年度は、市との協議で開催要件を緩和され250余りのサロンで派遣が行われました。また県の補助金事業として「介護予防に資する指導者育成研修会」「災害支援とリハビリテーションに関する研修会」を webにて今年度も開催しました。

「第8回介護予防推進に資する指導者養成」【web開催】2023年2月9日,10日

「第3回 災害支援とリハビリテーションに関する研修会」【web開催】2023年1月18日,20日
会議日【web開催】2022年12月1日,

POS 地域ケア会議部との合同会議【web開催】2022年10月24日,11月5日

在宅リハ部(旧訪問リハ部) (高橋理事、針谷 ST)

全国訪問リハ振興財団主催の地域リーダー会議に出席しました。全国訪問リハ振興財団の方針を踏まえ、訪問リハ実務者研修会を開催しました。

「第13回 訪問リハ・地域リーダー会議(web研修)」出席:2022年5月21日(高橋理事、針谷 ST)

「第6回群馬県地域リハビリテーション研修会(第12回訪問リハビリテーション実務者研修会)」

【web開催】2022年12月17日~30日 100名以上の申し込みがありました。

会議日【web開催】2022年8月3日,8月27日,12月22日

地域ケア会議部 (岡崎理事、田村理事、丹下理事)

・第8回介護予防に資する地域ケア会議研修会「地域ケア会議の役割と今後の展望」～リハ専門職と自治体との連携を目指して～開催:2023年3月24日,27日(web開催)

・会議日:2022年10月24日(丹下理事)、2022年12月27日(丹下理事)

群馬県地域リハビリテーション支援センター

- ・市町村向けフレイル予防研修動画の作成
- ・フレイル予防標準教材のブラッシュアップ

<事務局>

■総務部

1. 名簿、ラベルの管理・運営
2023年5月現在、総会員数257名（内、正会員255名、賛助会員2社）
2. 会員メーリングリストの管理・運営
3. 理事会開催及び議事録の管理・保管
4. 備品の管理・保管
5. 各種連絡発送
6. 事務局専用メールアドレス管理
7. その他

■財務部

1. 会費納入状況の確認
2. 会費徴収の促進
3. 出納簿入力
4. 領収書の仕訳
5. 源泉税等の納付
6. 講師等の領収書作成
7. 支払調書作成・送付
8. 会計事務所への業務連携
9. 会計監査
10. 決算・予算報告書作成

<学術局>

■生涯教育部

【新人研修プログラム】

- ・2022年5月29日新人症例発表会をオンラインにて開催いたしました。7名の新人STが発表を行いました。
- ・2022年度新人研修プログラムに7名エントリーがありました。うち1名途中で辞退があり、6名の実施となりました。
- ・新人研修プログラム全体検討会を2回webにて開催いたしました。オリエンテーション及び症例中間報告会を実施し、他施設の先生方との意見交換も活発に行われました。

【日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム研修会】

「本会主催 JAS 基礎講座」は、2022 年 11 月 16 日(土)3 講座、12 月 17 日(土)3 講座を web 開催しました。講師は福田 ST(藤岡総合病院)、小澤 ST(日高リハビリテーション病院)、角田副会長(群馬整肢療護園)。参加人数は「臨床業務のあり方、進め方」7 名、「言語聴覚療法の動向」6 名、「協会の役割と機構」7 名。「職種間連携」14 名、「臨床マネジメントと職業倫理」13 名、「研究法序説」14 名でした。

■学術研修部

【研修会】

臨床に必要な資質を養い、会員の資質向上を目指すことを目的に、研修会を 4 回開催しました。外部講師として、歯科医師 1 名、大学教員 1 名、薬剤師 1 名、言語聴覚士 1 名を招くことができました。

2022 年度は COVID-19 感染対策のため、研修会はすべて Zoom による Web 開催としました。

① 2022 年 6 月 11 日(土) 参加者 28 名

『言語聴覚士のいる地域社会のつくりかた～小さなことからコツコツと～』

講師:渋川中央病院 言語聴覚士 井田慎子 先生

② 2022 年 7 月 9 日(土) 参加者 39 名

『口腔がん治療後の嚥下障害へのアプローチ』

講師:公立藤岡総合病院 歯科口腔外科 清水崇寛 先生

③ 2022 年 9 月 10 日(土) 参加者 54 名

『摂食嚥下障害に対する服薬支援』

講師:老年病研究所附属病院 薬剤師 橋場弘武 先生

④ 2023 年 1 月 21 日(土) 参加者 44 名

『加齢性難聴と補聴器～現場で役立つ基本の話～』

講師:群馬パース大学 言語聴覚学科講師 岡野由実 先生

【症例検討会】

日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム(基礎プログラム)に対応する症例検討会を開催しました。

【第 6 回学術研究発表会】

2022 年度は、COVID-19 感染対策のもと第 6 回学術研究発表会を開催いたしました。

日時:2022 年 11 月 20 日(日)13:00～16:30

開催方法:Zoom による web 開催

内容:

《大講演》

「失語症の機能局在と認知神経心理学」

北海道大学大学院 脳神経内科専門医 大槻美佳 先生

《学術研究発表会 3 題》

「新型コロナウイルス感染症に配慮した急性期一般病床で動画を用いて嚥下体操を行う方法の考

察とその効果」

公立藤岡総合病院 酒井哲郎 ST

「嚥下訓練法の複合実施により軟食の経口摂取が可能となった重度嚥下障害患者について」

群馬リハビリテーション病院 茂木さつき ST

「構音不明瞭を主訴に来院したが、読み書きの苦手さが顕著にみられた一例の経過」

松井田病院 木村大輔 ST

< 事業局 >

■ 言語聴覚療法推進部

【地域リハグループ】

・『地域リハビリテーション活動推進のための人材育成事業』全国協会研修会を実施しました。介護予防推進コース・地域包括ケア推進コースともに、COVID-19 感染拡大防止の観点から web 開催と対面のハイブリット方式で開催しました。

「介護予防推進コース 初期研修」：2022 年 9 月 10 日(土)参加者 4 名

「介護予防推進コース 導入研修」：2022 年 10 月 8 日(土)参加者 4 名

「地域包括ケア推進コース 初期研修」：2022 年 9 月 11 日(日)参加者 4 名

「地域包括ケア推進コース 導入研修」：2022 年 10 月 9 日(日)参加者 4 名

会議日 web 開催 :2022 年 7 月 21 日、2023 年 1 月 17 日

「地域リハビリテーション活動支援に関する都道府県士会担当者情報交換会」：web 開催出席
2023 年 2 月 5 日 (高橋理事、酒井 ST)

【発達・聴覚リハグループ】

・研修会

2022 年度は 3 回の研修会を開催いたしました。すべて web 開催となりましたが、講師を招いた研修だけでなく、オンライン上での座談会として施設間の情報交換・共有の交流会を行うことができました。

○情報交換しませんか？オンラインでつながろう○ 2022 年 8 月 5 日(金) 9 名参加

○群馬県内における聴覚障害児への取り組み○ 2022 年 10 月 1 日(土) 24 名参加

① 私たちが行っていること 講師：小原透 ST(群馬大学医学部附属病院)

② 聾学校での対応と医療機関との連携 関根富美代 ST(群馬県立聾学校)

○特別支援学校機能強化事業について○ 2023 年 2 月 25 日(土)16 名参加

① 2022 年度外部専門家(ST) 派遣事業報告 関根富美代 ST(群馬県立聾学校)

② 特別支援学校での S T の取り組み

～群馬県と埼玉県で経験したことをご紹介～ 早坂ちひろ ST(フリーランス)

- ・令和4年度 群馬県特別支援学校機能強化 (外部専門家派遣) 事業

※1回の訪問で、複数のケースに対応している場合もあります。

1 外部専門家の派遣総数 (全体 54 件)

内訳

ST(20件) PT(2件) OT(8件) 社会福祉士(9件) 臨床心理士(13件)

臨床発達心理士(1件) 視能訓練士(1件)

2 ST の地区別件数 (20 件)

内訳

中部(6件) 東部(6件) 西部 (7件) 北部 (1件)

3 ST の校種別件数

園(2件) 特別支援学校(10件) 小学校(4件) 通級指導教室(3件) 中学校 (1件)

お忙しい中、依頼を受けていただいた方々に感謝申し上げます。

【失語症グループ】

- ・令和4年度群馬県失語症者向け意思疎通支援者養成事業

(2022年10月29日,30日、11月26日,27日、12月10日,11日

2023年1月28日,29日の全8回)

- ・令和4年度群馬県失語症者向け意思疎通支援者養成事業 (スキルアップ研修)

(2023年3月12日)

失語症グループは今年度12名の実行委員で活動し、COVID-19の感染はまだ落ち着いていない中でしたが、3年ぶり3回目の養成研修を実施して、新たに12名の修了生を輩出することができました。またこれまでの修了生を対象に行ったスキルアップ研修では19名の参加を得て、今後の派遣事業へ向けて熱い意見交換も行われました。次年度は失語症者の方への支援が具現化できるように、歩みを進めたいと思っています。

■広報部

【ニュース発行】

2022年8月10日「群馬県言語聴覚士会ニュース 第70号」発行

12月15日「群馬県言語聴覚士会ニュース 第71号」発行

2023年3月5日「群馬県言語聴覚士会ニュース 第72号」発行

2022年度も県士会ニュースは3回発行いたしました。今年度も昨年度と同様に県士会ニュースをホームページに掲載とさせていただきました。集まった作業は見合わせているため情報共有の観点からは円滑に作業が進みにくい部分もありましたが、広報部員の協力もあり様々な情報を会員の皆様にお伝えすることができました。

【ホームページの管理】

ホームページの管理・運営を行いました。利便性向上のため、定期的に更新を行っています。会の運営に関する各種報告の掲載、会員の皆さまの情報共有の機会となるよう講習会・研修会案内等の掲載も行いました。

【言語聴覚の日イベント】

言語聴覚の日イベント：COVID-19の情勢を鑑み、中止といたしました。

【その他の活動】

リーフレットの管理

他県士会広報の管理

- ・リーフレットは必要時に配布できるよう、管理していきます。必要な方は事務局までご連絡ください
- ・他県士会からの広報誌を管理しています。興味のある方は、是非広報部員までご連絡ください。

損益計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

一般社団法人 群馬県言語聴覚士会

(単位： 円)

【売上高】

会 費 収 入	942,000	
研 修 会 収 入	102,500	
群 馬 県 委 託 事 業	1,188,000	
預 り 金 収 入	17,731	
売 上 高 合 計		2,250,231
売 上 総 利 益 金 額		2,250,231

【管理費】

販売費及び一般管理費合計		2,191,010
営 業 利 益 金 額		59,221

【営業外収益】

受 取 利 息	13	
雑 収 入	50,000	
営 業 外 収 益 合 計		50,013
経 常 利 益 金 額		109,234
税引前当期純利益金額		109,234
当 期 純 利 益 金 額		109,234

貸借対照表

令和 5年 3月31日 現在

一般社団法人 群馬県言語聴覚士会

(単位： 円)

資産の部

【流動資産】

現 金 及 び 預 金	1,978,935	
流 動 資 産 合 計		1,978,935
資 産 の 部 合 計		1,978,935

負債の部

負 債 の 部 合 計		0
-------------	--	---

純資産の部

【株主資本】

利 益 剰 余 金		
そ の 他 利 益 剰 余 金		
繰 越 利 益 剰 余 金	1,978,935	
そ の 他 利 益 剰 余 金 合 計	1,978,935	
利 益 剰 余 金 合 計	1,978,935	
株 主 資 本 合 計		1,978,935
純 資 産 の 部 合 計		1,978,935
負 債 及 び 純 資 産 合 計		1,978,935

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

一般社団法人 群馬県言語聴覚士会		(単位： 円)
運 営 費	415,425	
交 通 費	8,800	
会 場 費	18,810	
印 刷 代	78,614	
要 請 事 業 支 払 金	1,079,319	
会 議 費	128,500	
通 信 費	51,757	
消 耗 品 費	127,686	
源 泉 預 り 金 支 出	17,731	
年 会 費	86,027	
支 払 手 数 料	4,610	
講 師 謝 礼	173,731	
販売費及び一般管理費合計	<u>2,191,010</u>	<u>2,191,010</u>

令和5年5月8日

一般社団法人群馬県言語聴覚士会
会長（代表理事） 木村 大輔 殿

監査報告書

一般社団法人群馬県言語聴覚士会

監事

真下 潔



監事

中里真利子



2022年事業年度の各局・各部・委員会等の事業報告、計算書類と附属明細書、実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事真下潔は会計の分野を中心に、監事中里真利子は事業の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、必要に応じて随時説明を求めました。

2 監査の結果

(1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。

(2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

(4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

3 追記情報（自由記述）

特記なし

以上

◆第4号議案：資料 2023年度事業計画（案）

■ 県士会運営計画

<参加>

《参加・出席》

2023年

日本語聴覚士協会 春期・秋期 都道府県士会長会議
群馬県循環器病対策推進協議会
群馬県歯科医師会 新年を迎える会
学校教育連携担当者連絡協議会
地域リハ活動支援に関する全国担当者会議
福祉事務所・小児医療療育施設連絡協議会
関東圏言語聴覚士会長会議
令和5年度前橋地域リハビリテーション推進協議会
第26回群馬県地域リハビリテーション協議会

《会員登録》

群馬リハビリテーション関連団体連絡協議会 会員
NPO 法人日本失語症協議会 賛助会員

《後援》

依頼があった案件を理事会で検討し対応します。

《その他》

2023年度から入金先が変わります。お間違えの無いようお願いいたします。

■ 新振込口座

金融機関名： ゆうちょ銀行

支店名： ○二九（ゼロニキュウ）店（029）

口座種類： 当座

口座番号： 0145386

口座名義： 群馬県言語聴覚士会（グンマケンゲンゴチョウカクシカイ）

※郵便振替の場合の口座番号は「00220-6-145386」

また、2023年度からは株式会社 klar（クラー）に事務局の業務の委託幅を増やしていき、会員の情報管理は株式会社 klar に一任する事となります。事務局と連携しながらすすめていきますが、会費や会員情報の問い合わせなどの返信が今までより時間を要することがありますので、早めのお問い合わせをお願いいたします。

《群馬県多職種連携推進協議会（オール群馬）》

参加団体の情報交換を中心に行う予定です。各団体が取組んでいる事業に関する情報の交換や発信、感染症対策に関する情報交換を行う予定です。

《群馬県 POS 連絡協議会》

運営会議出席者：

介護予防部(高橋理事、永原理事、中島 ST)

県内の介護予防に携わる PT/OT/ST のスキルアップ研修として研修会を開催し、高崎市ふれあいいいきサロンや高崎市元気づくりステーション（長寿センター）への講師派遣事業を継続します。また、要請に応じて住民主体の介護予防を目的とした集いの場開催の支援を行います。県の補助金事業として「介護予防推進に資する指導者養成研修会」「災害支援とリハビリテーションに関する研修会」を開催予定です。

「2023 年度ふれあいいいきサロン説明会」開催予定

「第 9 回介護予防推進に資する指導者養成研修会」開催予定

「第 4 回 災害支援とリハビリテーションに関する研修会」開催予定

在宅リハ部（旧訪問リハ部）(高橋理事、針谷 ST)

訪問リハ部は、訪問リハに限らず、入退院後の自宅生活、施設入所など多様な在宅リハを対象にすることから名称を在宅リハ部に変更しました。在宅生活は、新たな病気の発症や悪化など病院入院と在宅を行き来する中でいかにリハビリを継続して生活を支えるか、という視点が重要です。訪問リハビリに従事する ST だけでなく病院 ST との連携が必要です。

今年度も、全国訪問リハ振興財団主催の全国リーダー研修に参加し、その方針を踏まえた上で 2023 年度の研修会を行う方針です。たくさんの ST の参加と連携をお願いします。

「第 7 回群馬県地域リハビリテーション研修会（第 13 回訪問リハビリテーション実務者研修会）」開催予定

地域ケア会議部

・地域ケア会議や地域支援の場で、リハビリテーション専門職として自立支援に役立つ効果的な助言ができるよう、また個別ケースの検討から地域課題の検討へ会議の質を高めていけるよう、継続して研修事業を行なっていきます。

「第 9 回介護予防に資する地域ケア会議研修会」開催予定

群馬県地域リハビリテーション支援センター

- ・市町村向けフレイル予防研修動画のブラッシュアップ
- ・フレイル予防標準教材のブラッシュアップ
- ・広域支援センター連絡協議会（情報交換会）
- ・研修会「第 20 回 地域リハ研究会」の開催

<事務局>

■総務部

1. 名簿、ラベルの管理・運営
2. 会員メーリングリストの管理・運営
3. 理事会開催及び議事録の管理・保管
4. 備品の管理・保管
5. 各種連絡発送
6. 事務局専用メールアドレス管理
7. その他

■財務部

1. 会費納入状況の確認
2. 会費徴収の促進
3. 出納簿入力
4. 領収書の仕訳
5. 源泉税等の納付
6. 講師等の領収書作成
7. 支払調書作成・送付
8. 会計事務所への業務連携
9. 会計監査
10. 決算・予算報告書作成

< 学術局 >

■生涯教育部

【新人研修プログラム】

臨床経験が浅い新人 ST を対象に、他病院の指導者の下、担当症例の臨床経過をまとめ、新人症例発表会で発表をして頂き、ST としての幅広い視野と深い洞察力を磨くプログラムです。

全体検討会を学術研修部研修会と重ならない月に開催予定 (例年 2 回)。新人 ST の臨床経験を深める場であり、他施設の ST との交流の場でもありますので、ぜひご参加ください。SV、新人 ST のみならず、会員のどなたでも参加できます。見学がてらの参加も歓迎です。

会員の皆さまには、新人 ST の臨床を支える支援として SV としてご協力いただきます。新人 ST と一緒に考え、学んで頂くことが大切なことと思います。こころよくお引き受けいただけるようお願いいたします。自薦歓迎です。エントリー条件その他につきましては学術局 生涯教育部員にお尋ねください。

【日本語聴覚士協会生涯学習プログラム研修会】

日本語聴覚士協会生涯学習プログラムのスタートラインといえる講座です。2023 年度も日本語聴覚士協会の規定に基づき、基礎 6 講座を 2 日に分けてオンラインでの開催を予定しています。開催要項は、協会・本会のホームページに掲載します。日本語聴覚士協会会員の方、今後認定言語聴覚士を目指そうとしている方、ご応募お待ちしております。また、講師資格を有してい

る方はぜひ講師受諾のご協力お願いいたします。

■学術研修部

【研修会】

- ・今年度は、医師、コメディカルの先生を招いての研修会を4回予定しています。
- ・日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの修了要件「症例検討・発表」の場を提供するため、「症例検討会」を開催します。参加要件は、日本言語聴覚士協会会員かつ本会会員となります。発表をする方以外の聴講はできませんのでご注意ください。
- ・今年度の研修会、症例検討会も原則 zoom による web 開催を行いつつ、今年度より実地やハイブリッドでの開催も検討しております。

【第7回学術研究発表会】

今年度は、11月にweb開催を予定しています。特別講演会は、広島国際大学 准教授 福岡達之先生を講師に招き、嚥下障害の評価と訓練についての講演を予定しております。例年通り、症例発表も6~12症例行う予定となっています。

昨今、COVID-19の影響で学会や研修会の様式も様変わりしております。研究発表の場、全国学会への足掛かりの場として積極的にご参加下さい。エントリー・参加募集等は、後日、広報やメール等でご案内させて頂く予定です。

<事業局>

■言語聴覚療法推進部

【地域リハグループ】

今年度も『地域リハビリテーション活動推進のための人材育成研修会』は『介護予防推進コース』『地域包括ケア推進コース』の2つのコースについてそれぞれ初期研修、導入研修を行う予定です。web開催に加えCOVID19の情勢によっては対面研修による開催も検討していきます。

これは全国協会の『人材育成事業』を県士会で実施するものです。全国協会の修了証発行要件には『県士会活動の積極的な参加』が含まれています。当県士会では、各部の活動や研修会参加・事業への協力等をポイントでカウントしますので、これを機に県士会活動への積極的な参加をお願いいたします。地域ケア会議への参加や地域リハ、介護予防等、STの参加はますます増えていくと思われます。その際、この研修の履修は必須の内容となっています。自身のスキルアップとしてもぜひ受講してください。詳細については追ってメーリング等でお知らせします。

【発達・聴覚グループ】

- ・研修会

2022年度に引き続き3回の研修を計画しています。また、COVID-19の感染症法上の見直し(2023年5月)に伴い、会場を使用した研修開催を検討していきます。研修会の詳細は県士会ホームページやメーリング等で随時案内します。

※見直し後、新たに感染症法上の分類や措置に変更がある場合は web 開催が原則になることもあります

- ・令和5年度 群馬県特別支援学校機能強化(外部専門家派遣)事業園や学校への ST 派遣事業への参加協力を継続していきます。
多くの ST にご参加、ご協力をお願いいたします。

【失語症グループ】

群馬県、前橋市、高崎市から委託を受けて取り組んでいる「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」では、これまでに失語症者向け意思疎通支援者 44 名が養成されています。

今年度は意思疎通支援者の養成継続に加え、派遣事業への足掛かりとして、養成された意思疎通支援者のスキルアップを兼ねながら、失語症者のサロン活動等を展開したいと考えています。感染管理のため活動の難しさは多々ありますが、失語症の方への事業の紹介や参加の促し等、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

■広報部

【ニュース発行】

2023年7月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第73号」発行予定

10月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第74号」発行予定

2024年2月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第75号」発行予定

「群馬県言語聴覚士会ニュース」は、今年度も昨年同様、年3回の発行予定を計画しています。今年も「思わず読みたくなるニュース」、「役に立つニュース」を目標に紙面の内容も検討して引き続きホームページへの掲載する予定ですので、会員の皆様にはお手数をおかけしますが、ぜひホームページをチェックしていただきたいと思います。

【ホームページの管理】

ホームページの管理・運営を行っていきます。会の運営に関する各種報告・研修会案内等を掲載していきますので、会員の皆様には定期的に閲覧頂くようお願いいたします。

【言語聴覚の日イベント】

COVID-19の情勢を鑑みながら、イベントの開催方法を検討していきます。
また、イベント以外にも言語聴覚士、本会の活動を県内外問わず皆様に広く知っていただけるよう、啓発活動を行ってまいります。

【その他の活動】

リーフレットの管理

他県士会広報の管理

- ・リーフレットは必要時に配布できるよう、管理していきます。
- ・他県士会からの広報誌を管理しています。興味のある方は、是非広報部員までご連絡ください。

◆第5号議案：資料 2023年度予算案

収入の部

項目	予算額	内訳等
繰越金	1,978,935	
会費収入	1,295,000	正会員255、賛助会員2
研修会参加費	64,000	4000円×4コース×4名
委託事業費	1,200,000	
収入計	4,537,935	

支出の部

項目	予算額	内訳等
運営費	752,400	HP管理費、会計事務所委託料、事務委託料など
広告費	100,000	言語の日、介護フェスタなど
交通費	14,400	理事会、各部会等
会場費	88,000	総会、研修会など
印刷代	71,500	広報部新聞など
要請事業支払金	1,000	委託事業差額
会議費	202,500	理事会、各部会等
旅費交通費	0	学術研修講師、会長会議
通信費	60,000	切手、はがき、郵送代など
消耗品費	174,000	封筒、事務用品、PCなど
年会費	45,600	失語症友の会、POS連絡協議会、JRAT
諸手数料	17,500	支払手数料など
委託事業費	1,200,000	失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修事業
講師謝礼	180,000	講師謝礼、図書カードなど
雑費	108,681	失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修事業2022年度返金
繰越金	1,522,354	
支出計	4,537,935	

一般社団法人群馬県言語聴覚士会 2023 年度役員

2022 年度選出の役員が、任期中のため継続して任にあたります。

<理 事>

会 長	木村 大輔	松井田病院
第一副会長	角田 淳	利根沼田子ども発達支援センターリズム
第二副会長	丹下 弥生	群馬パース大学
事務局 長	江口 育恵	群馬リハビリテーション病院
学 術 局 長	永原 大樹	前橋医療福祉専門学校
事 業 局 長	高橋 典子	高崎健康福祉大学訪問看護ステーション
学術研修部長	鈴木 謙	公立藤岡総合病院
財 務 部 長	田村 絵里	デイホーム孫の手・前橋南
総 務 部 長	金井 俊輔	もてなし日和ゆのえん
広 報 部 長	川原 優美	高崎総合医療センター
理 事	峯岸 幸弘	群馬大学共同教育学部
理 事	小原 透	群馬大学医学部附属病院
理 事	平野 哲	老年病研究所附属病院
理 事	井田 慎子	渋川中央病院
理 事	岡崎 晶子	笑 遊
理 事	関根富美代	群馬県立聾学校

以上 理事 16 名（任期 2023 年度末まで）

監 事	真下 潔	社会福祉法人 久仁会
監 事	中里真利子	

以上 監事 2 名（任期 2025 年度末まで）

一般社団法人群馬県言語聴覚士会 2023年度組織図

